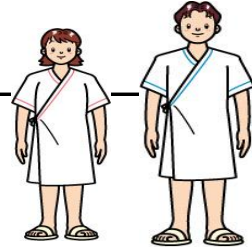


() 様

主治医:

担当看護師:

NO1

月 日	/	/	手術当日	
経過	入院当日	手術前日	手術前	手術後
注射薬	・現在飲んでいるお薬を入院期間分(最大28日分)お持ちください ・入院前から飲んでいる薬の内容を確認後、お返ししますので、手術まではご自分で管理してください(必要時、看護師よりお配りします)	・お薬をお預かりします 	・麻酔科から指示があれば、今まで飲んでいた薬の一部を6～7時頃に飲んでもらうことがあります ・点滴が始まります ※午前の手術:手術室で 午後の手術:10～11時頃に 	・点滴は翌日まで続きます ・抗生物質の点滴をします ・飲み薬は手術を受けた日は飲みません(手術前から睡眠薬を飲まれていた方も手術当日は飲むことができません)
検査処置	・ネームバンドをつけさせていただきます ・身長と体重などを計ります ・胸、股関節の엑스線検査をします(検査のない方もいます)	・弾性ストッキングのサイズを測ります ・リハビリの診察があります(訪問がないこともあります)	・浣腸をします 午前の手術:6～7時 午後の手術:10時頃 ・手術着に着替えます 	・心電図モニターをつけます ・酸素マスクを3時間使用し、異常がなければはずします ・血栓予防のため、弾性ストッキングを履き、ふくらはぎにポンプをつけ、マッサージをします ・ご自分でも足首・足の指をよく動かしてください ・傷口はアイスノンで冷やします ・傷口には血抜き管がはいっています
観察	・体温・脈拍・血圧などを測ります			・体温・脈拍・血圧などを測ります
活動安静	・病棟内でお過ごしください 		・お部屋でお過ごしください 	・寝返りをする際は看護師がお手伝いをします ・股の間に枕を置き、足が内股にならないようにします
食事	・制限はありません(食事療法が必要な方は治療食がです)	・飲んだり、食べたりが制限される時間については、別紙で説明します	・制限された時間以降は、絶対に飲んだり食べたりしないで下さい	・手術後3時間したら、看護師はお腹の音を聞きに行きます ・動いていれば、水分を取ることができます
清潔	・入浴(シャワー)ができます	・シャワーをして下さい ・髭剃りをして下さい ・爪切りをして下さい	・歯磨き、洗面をして下さい	・ベッドの上でうがいと洗面をします 
排泄	・制限はありません		・手術室に行く前にトイレをすませてください	・尿は管で管理されています ・便はベッドの上で行います 
説明	・医師から説明をうけ了承されましたら、同意書、入院診療計画書を署名し医師または看護師にお渡しください ・医師からの説明時にはご家族も同席してください ・同席できない場合は、医師又は看護にご相談ください ・手術後の注意点について説明します	・手術室の看護師の訪問があります(訪問がないこともあります) ・麻酔科の訪問があります(訪問がないこともあります) 	・入れ歯や指輪は、外しておいて下さい	・痛みや吐き気に応じて薬を使用しますので、ナースコールでお知らせください 
その他	【手術前日までに準備していただく物品】 □バスタオル・フェイスタオル(各3枚ずつ) □お薬ケース 【入院中があると便利な物】 □柄の長い靴べら □マジックハンド 		・ご家族様は手術時間の少し前にお越しください ・手術中は病棟内で待機してください ・病棟を離れる際はスタッフに声をかけてください ・離れている間は携帯電話がつながるようにしてください	・手術後、手術結果について医師よりご家族様に説明があります

人工股関節置換術を受けられる患者さんへ

想定診断群(DPC): 07040x

() 様

主治医:

担当看護師:

NO2

月	日	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
経過	手術後													
	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	11日目	12日目	13日目	
注射薬	・食事が半分以上食べられたら、24時間の点滴を終了します ・朝・昼に抗生物質の点滴をします	・点滴の針をぬきます ・血栓予防の内服が始まります(ない方もいます)												
	・痛み止めと貧血予防の飲み薬を飲みます													
検査処置	・朝に心電図モニターを外します ・車椅子に移れたら、血栓予防のポンプを外します ・傷口には管が入っています ・血液検査をします ・傷口はアイスノンで冷やします	・傷口に入っている管を抜き、消毒をします ・傷口はアイスノンで冷やします ・術後4日目、7日に血液検査をします					・股関節のエックス線検査をします							
	(トイレまで一人で歩行できるようになり、医師の許可があれば脱ぐことができます)													
観察	・体温・脈拍・血圧などを測ります	・体温・脈拍・血圧などを測ります												
活動安静	・車椅子か、可能なら歩行器での歩行ができます ・股の間に枕を置き、足が内股にならないようにします	・車椅子か、可能なら歩行器での歩行ができます ・看護師が動作を確認し、安定していると判断すれば、自分で車椅子に乗ったり、歩行器で歩行することができます ・股の間に枕を置き、足が内股にならないようにします				・リハビリの進行具合で、歩行器・杖を使用し、歩行します ・股の間に枕を置き、足が内股にならないようにします ・足を挙げていた枕と冷やしていたアイスノンを外します(痛みに応じてアイスノンの使用は継続します)								
食事	・ベッドで食事をします	・ベッドで食事をします	・床頭台の引き出すテーブルを使用し、部屋でお食べ下さい ・順番に食事を配ります											
清潔	・お体を拭きます ・尿の管が入っている場合は、挿入部を毎日洗います		・髪の毛を洗います	・お体を拭きます	・医師の許可が出れば、看護師見守りのもとシャワーができます			・看護師により、自分でできると判断されたら、1人でシャワーができます						
	・弾性ストッキングを履いている間は皮膚の状態を観察するため、ストッキング内を毎日拭きます													
排泄	・可能なら、尿の管を抜きます ・車椅子か歩行器でトイレに行きます	・可能なら、尿の管を抜きます ・車椅子か歩行器でトイレに行きます			・歩行器か杖でトイレに行きます									
説明	・車椅子・歩行器の移動は、慣れるまで看護師見守りのもと行います ・手術後、体調が落ち着くまで、飲み薬はその都度、看護師がお渡しします ・脱水・膀胱炎にならないようにできるだけ水分を摂るようにしてください	・車椅子や歩行器の使用に慣れるまで、看護師の見守りのもと行います ・膀胱炎にならないように、できるだけ水分をよく摂るようにしてください				・シャワー浴は慣れるまで、看護師が見守り、ご自分で安全に動作できるかを確認したのち、お一人で入っていただくようになります ・シャワー浴の時に、ズボンの履き方を練習します								
その他	  													

★病状によっては予定が変更されることがあります

イラストは医療者用CDロング集から転載

大阪市立総合医療センター 整形外科
(13008-A)

2012年 5月作成
2025年 6月改訂

人工股関節置換術を受けられる患者さんへ

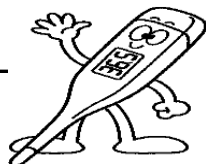
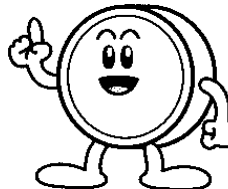
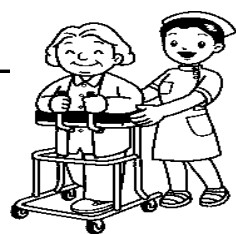
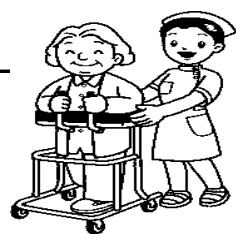
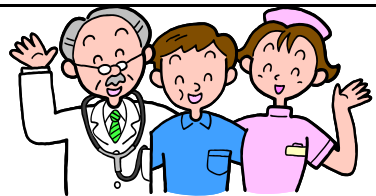
想定診断群(DPC):07040x

() 様

主治医:

担当看護師:

NO3

月 日	/		/		/	
経過			手術後			
	14日目		15日目	16日目・退院		
注射薬				・痛みが続いていたら、続けて痛み止めを処方してもらうこともできます（退院日） ・退院薬をお渡しします 		
検査処置	・医師により、傷口のフィルムをはがします ・血液検査をします 			・ネームバンドをはずします  		
観察	・体温・脈拍・血圧などを測ります 					
活動安静	・リハビリの進行具合で、歩行器・杖を使用し、歩行します ・股の間に枕を置き、足が内股にならないようにします 					
食事	・歩行に慣れれば食堂を利用し活動範囲を広げていただきます			・朝食までお食事ができます 		
清潔	・看護師により、自分でできると判断されたら、1人でシャワーができます			・定期的な運動を行い、体重の増加には気をつけましょう ・風邪や膀胱炎、虫歯などに注意して、感染予防のために手洗い・うがいを行い、症状が疑われた場合は早めの受診をお勧めします ・湯船には約1ヶ月後の次回外来までは入浴できません 		
排泄	・歩行器か杖でトイレに行きます					
説明	・傷口のフィルムをはがした後、シャワー浴を行う際は、傷口をこすらず、優しく洗うようにして下さい ・靴下の安全な履き方を練習します ・必要時、靴下履きを助ける道具の使用方を説明します ・手術後15日目に退院後の生活について、注意点を説明します ・退院後のことについて不安なことがあったら看護師に言ってください			・湯船には約1ヶ月後の次回外来までは入浴できません ＜次回外来診察時に主治医に確認していただくこと＞ ・車の運転開始時期 ・自転車の乗車時期 ・仕事復帰時期		
その他				・入院費用の精算ができましたらお知らせします ・看護師から退院の説明を受けた後、1階で手続きを行ってください 		